

経営比較分析表（令和2年度決算）

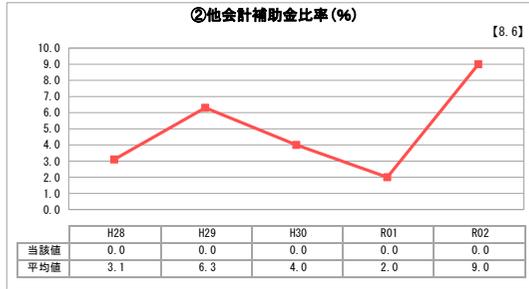
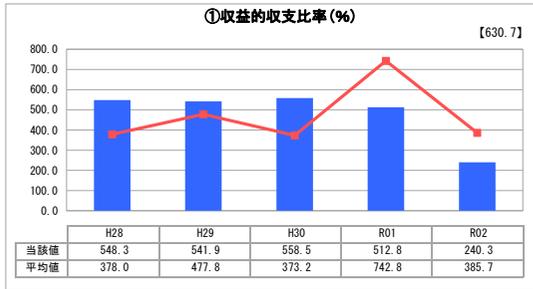
茨城県石岡市 市営駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	43	

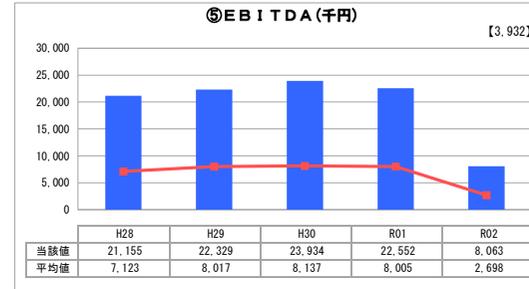
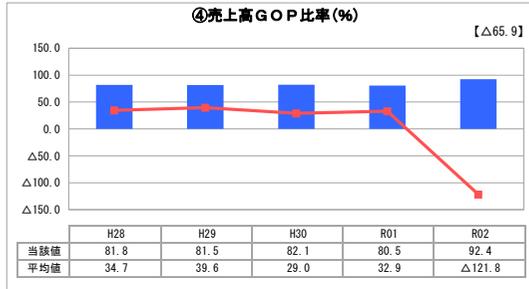
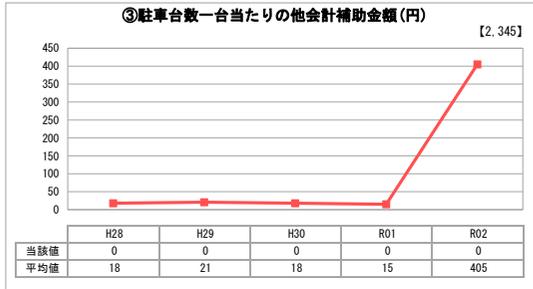
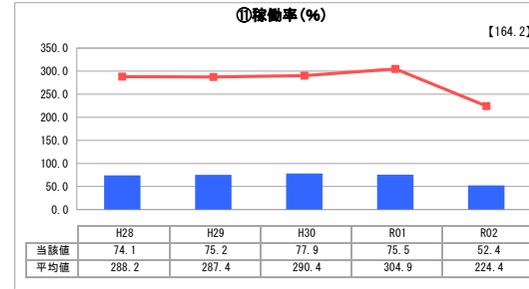
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	7,090
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
290	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

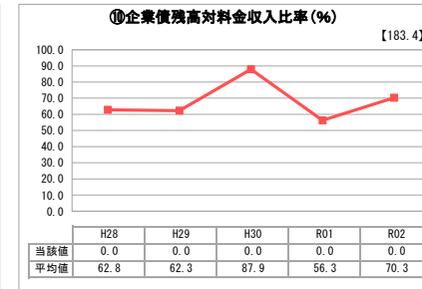


⑧敷地の地価(千円)

218,909

⑨設備投資見込額(千円)

46,502



分析欄

1. 収益等の状況について
 当該施設の収支は安定して黒字である。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、施設稼働の低下に伴う使用料収入の減少による各指標の悪化はられるものの、④売上高GOP比率、⑤EBITDAともに類似施設平均以上で、プラスで推移している。②他会計補助金比率、③駐車台数1台当たりの他会計補助金額は0のままであり、新型コロナウイルスによる施設利用が減少する社会情勢の中にあっても、一般会計等からの繰入に依存しない、独立採算制の高い運営を行っている。

2. 資産等の状況について
 累積欠損額や企業債残高はないが、供用を開始して40年以上が経過しており、路面舗装等の改修や精算機等の施設の更新を計画的に進めていくことで、施設の長寿寿命化を図っていく必要がある。

3. 利用の状況について
 稼働率の過去5年間の経年比較については、平成30年度まではやや右肩上がりで推移していた。令和元年度は稼働率の減少はみられるものの、ほぼ前年度並みを保っていた。しかし、令和2年度は明らかに稼働率が落ち込んでいる。これは、新型コロナウイルスの影響によるものと考えており、当該施設の稼働状況を見ると、定期駐車契約の稼働率にはあまり変化がないものの、一般の普通駐車車の稼働率の低下が顕著である。

全体総括
 当該施設は駅前という立地条件から、駐車場としての需要もあり、安定した経営を行っている。しかし、新型コロナウイルスの影響により、社会情勢が変化しており、従来通りの稼働率や収益を経営的に得ていくことは困難な状況にある。駐車場事業として、今後も健全な経営を続けていくために、収益に見合った運営方法への見直しやPF1、指定管理など民間活力の導入なども視野に入れて検討していく必要がある。